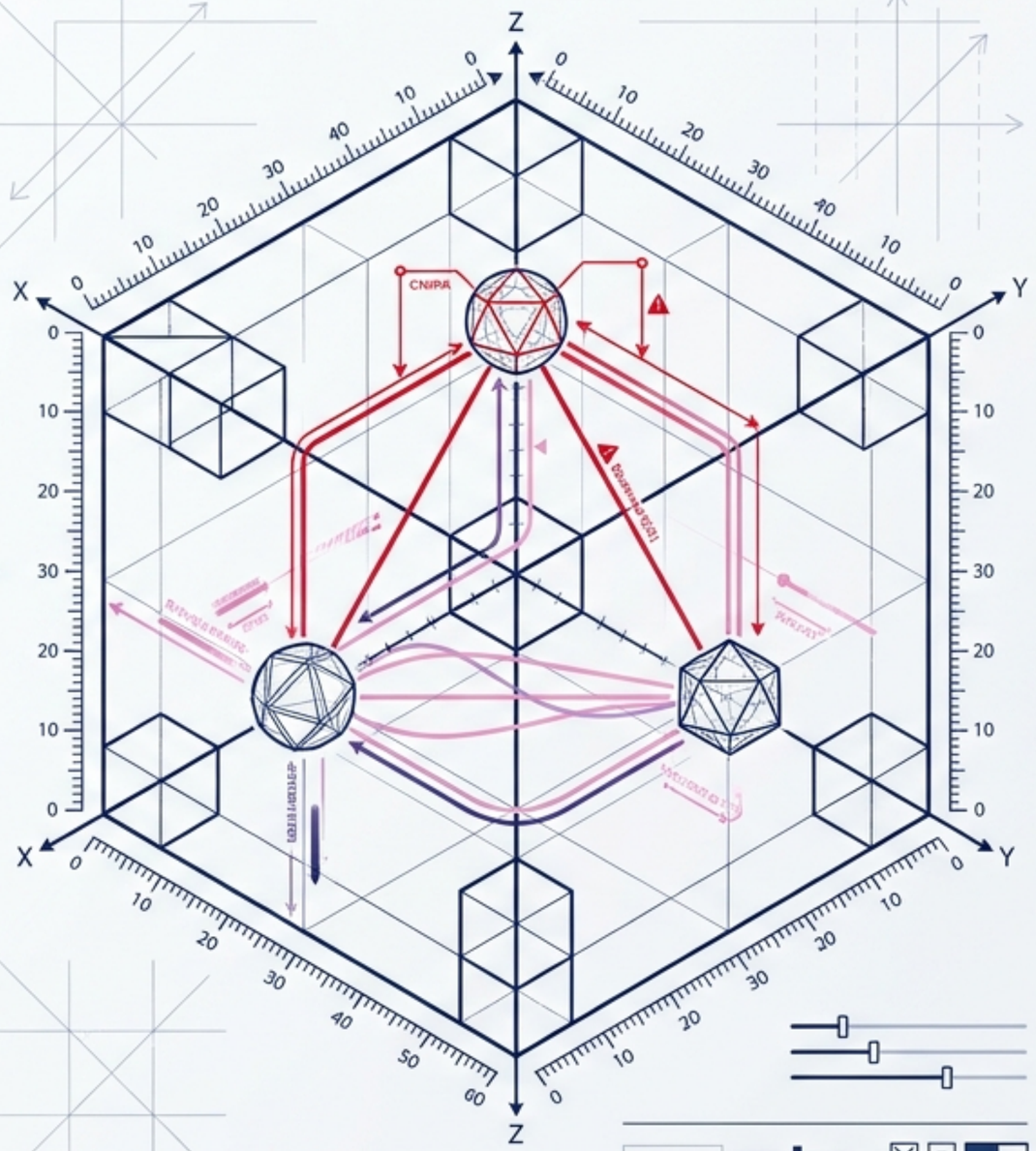
パラメータ発明の日中比較と実務対応策

中国の厳格な審査・無効実務を突破するための明細書設計マスターブループリント

グローバル知財戦略研究所



Gemini Notebook

エグゼクティブ・サマリー：直面する危機と解決への青写真



激化する無効リスク (Trend)

中国におけるパラメータ限定特許の全部無効率は上昇傾向。新規性・進歩性関連で約42%（2000-2020）から約56%（2021-2025）へ急増。



致命的な「補正の罠」 (Threat)

中国の無効手続では、明細書のみに記載された特徴を新たに取り込む補正が原則不可。日本のような柔軟な減縮訂正は期待できない。



予防的明細書設計 (Solution)

解決策は「出願前の設計」のみ。測定条件の一義化、相関パラメータの調整手段、そして階層的従属請求項の構築が絶対条件となる。

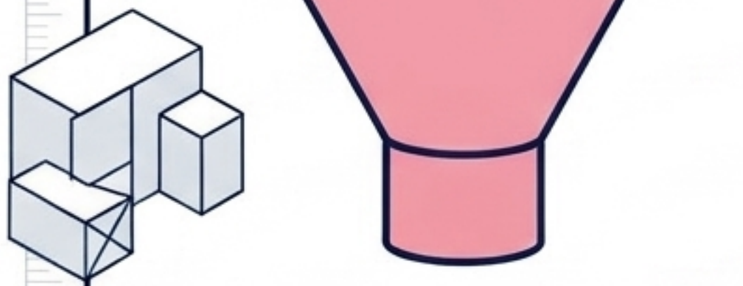
Gemini Notebook

マクロ診断マトリクス：日中審査・無効実務の断層

	中国（CNIPA / 最高人民法院）	日本（JPO / 知財高裁）
明確性	定義・測定方法の一義的特定を極めて厳格に要求。	請求項・明細書・技術常識から総合判断。
新規性	原料・工程が類似なら同一と「推定」し新規性を否定。	「一応の合理的な疑い」に基づく拒絶理由通知。
進歩性	「三歩法」適用。効果未確認なら「別製品の提供」と格下げ認定。	設計変更の容易性と有利な効果の総合考慮。
データ事後提出	当初開示から得られる効果に限定し、対照再現性を厳格審査。	当初開示から認識できる効果の補強に限る（事後的補完は不可）。
無効時の補正	他請求項からの「更なる限定」等に制限。明細書からの特徴取込み原則不可。	明細書・図面に基づく減縮訂正が可能。

Gemini Notebook

致命的な非対称性：無効手続における補正の罠



日本（JPO）：柔軟な救済の余地

明細書または図面の記載を根拠とした減縮訂正が可能。実施例の数値を用いた境界値変更等の選択肢が残されている。



中国（CNIPA）：厳格な補正制限

無効手続中の補正は請求項の削除や「更なる限定」に厳しく制限。明細書のみに記載された特徴や数値の新規取込みは原則不可。

絶対条件：権利化までに有効な限定事項を「従属請求項」として階層的に組み込むこと。

Gemini Notebook

Battleground 1: 明確性



「公知規格の引用」は免罪符ではない。規格内に複数の条件選択肢（温度、湿度、サンプリング方法等）が存在し、結果が変動する場合は不明瞭と判断される。

公知規格の罠 (Forensic Cases)

Forensic Evidence Cards — **Case 2-A**

審決564757号: 光開始剤

引用規格: GB11986-1989

LOSS

判定: 規格明記にもかかわらず、サンプリング範囲や温湿度で結果が異なるとされ【不明瞭・無効】

Forensic Evidence Cards — **Case 2-B**

審決584505号: 電池用セパレータ

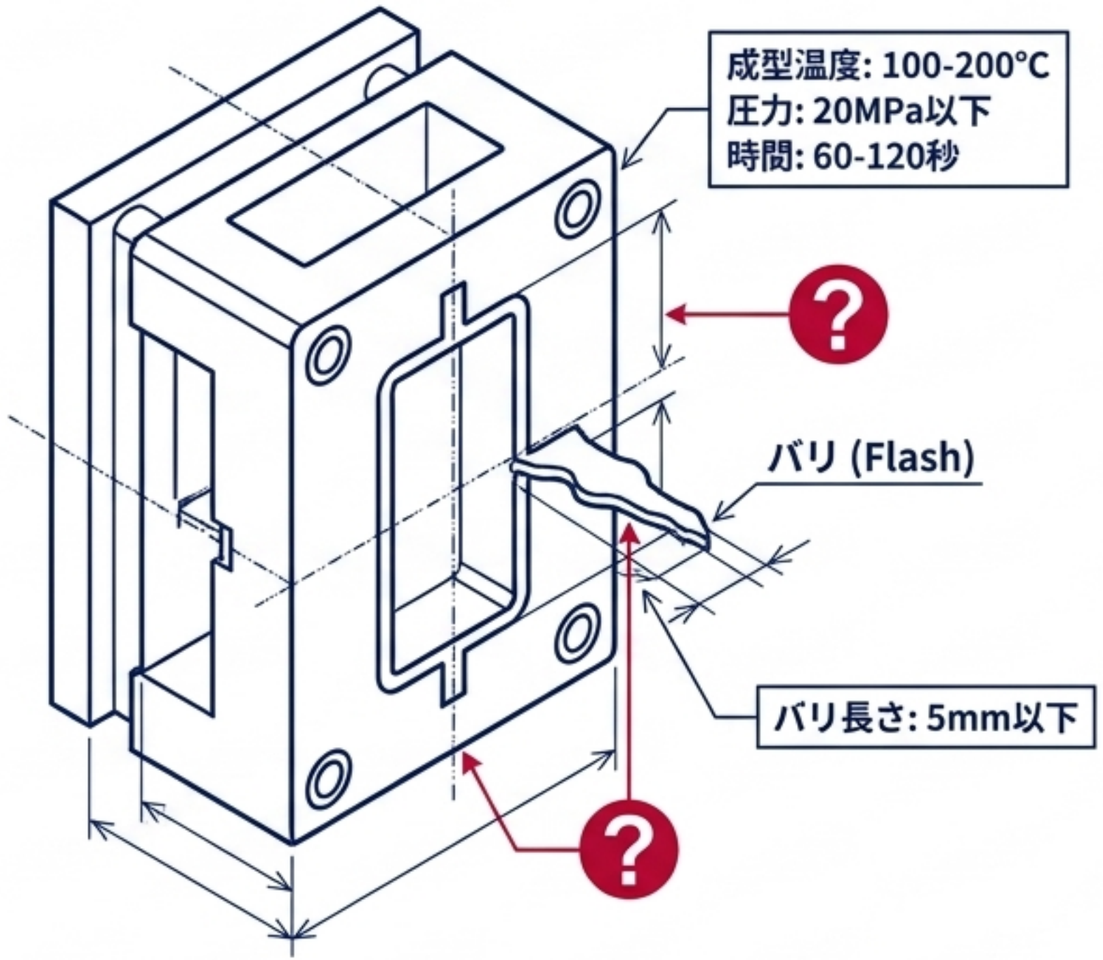
引用規格: JIS K-5101

WIN

判定: 明細書内に定義・計算式・規格の版年(2004)が明記されており正確に測定可能として【明確・維持】

Gemini Notebook

物理的矛盾と測定境界の曖昧さ



Forensic Evidence Card

Case 1 / 審決53229号

技術: 熱硬化性光反射用樹脂組成物

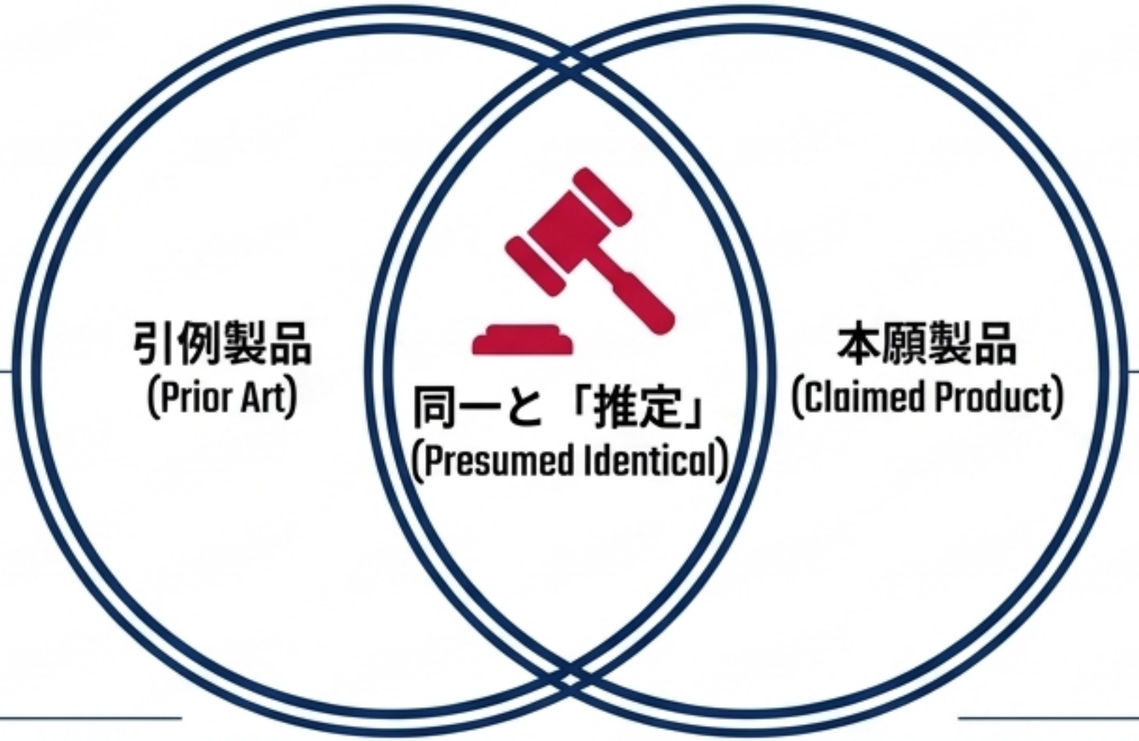
中国合議体判定: 【不明瞭・無効】

The Fatal Flaws:

- **物理的矛盾**: 明細書の記載と図面の表示が不一致。測定箇所が確定不能。
- **条件範囲の罠**: 指定された温度等の範囲において、「範囲内のいずれか1点の条件を満たせばよいのか」、それとも「範囲内の全条件で満たすのか」が一義的に確定できない。

Gemini Notebook

Battleground 2: 新規性と「同一性の推定」



Case 3 - WIN

審決560904号（固有粘度）：原料（二価フェノール）の構造が引例と異なることを立証し、分子鎖形態が同一にならないことを証明。【新規性維持】

Case 4 - LOSS

審決584361号（合金の密度）：組織構造に影響する「冷却速度を含む加工工程」が引例に開示されていたため反論不可。【新規性否定】

日本実務との対比：日本の「一応の合理的な疑い」と同質だが、中国ではパラメータが単なる組成の必然的結果ではないことの立証責任が極めて重い。

Gemini Notebook

Battleground 3: 進歩性と中国独自の「三歩法」

Step 1:
最も近い従来技術の確定

Step 2:
相違点と実際に解決する技術課題の確定
[DANGER ZONE]

Step 3:
当業者にとって自明かの判断

The 'Different Product' Trap (Case 5)

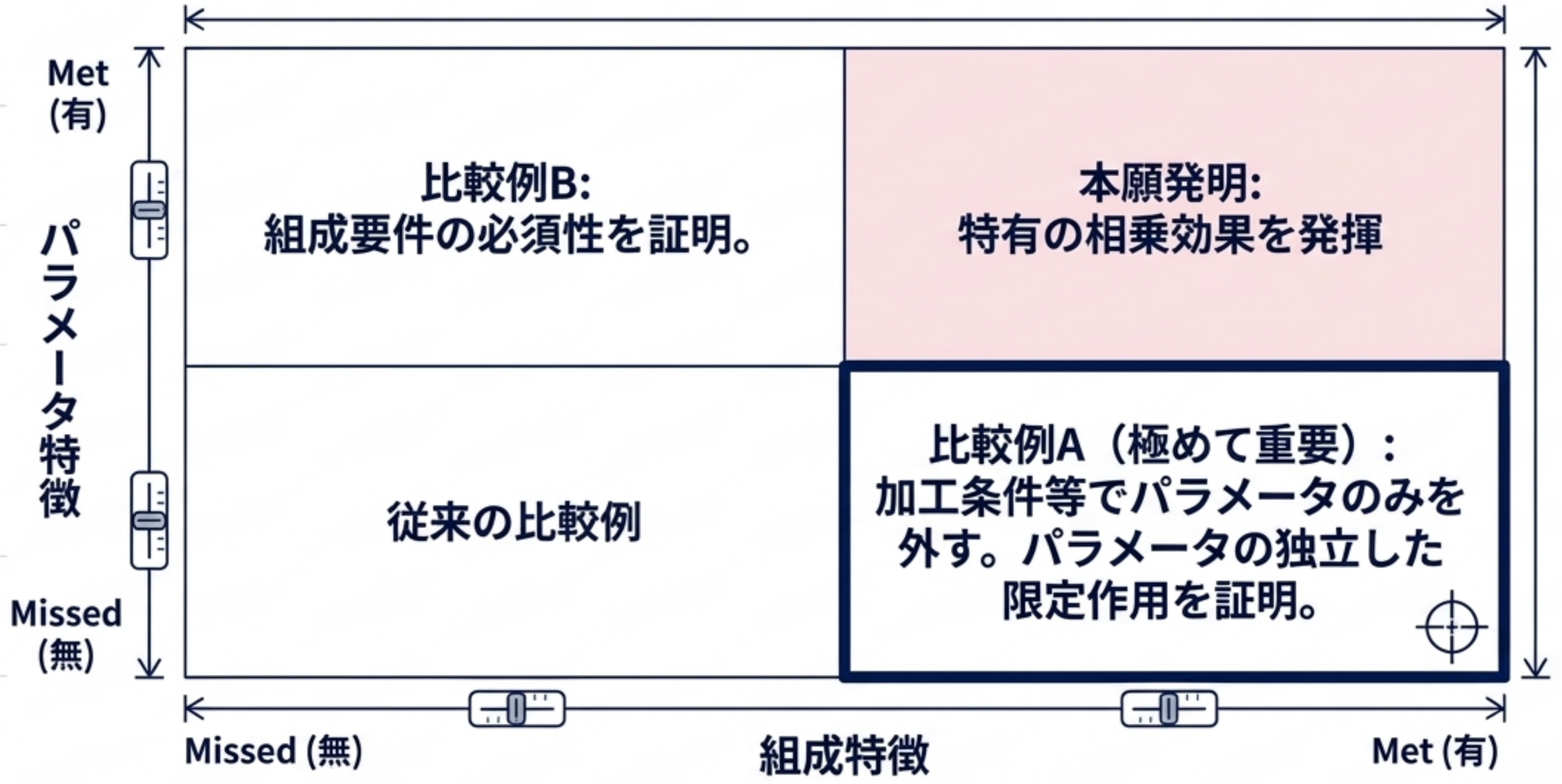
技術: 調味料（pH 3.0-4.6）

致命的欠陥: メカニズムの説明がなく、範囲外の比較例も存在しない。

中国合議体の論理: 効果（香気保持）との関連性が確認できない。解決した課題は単なる「別の製品の提供」に格下げされ、進歩性が否定される。

Gemini Notebook

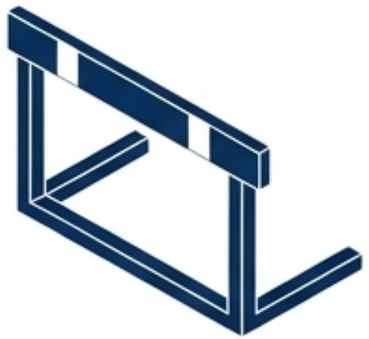
比較例の黄金律：相乗効果を証明する2x2マトリクス



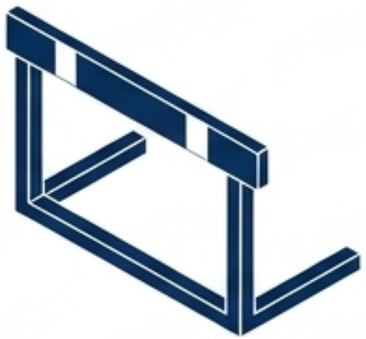
Insight: 中国実務において「組成＋パラメータ」を進歩性の根拠とするには、単なる結果ではなく各々の寄与を切り分けた比較例（特に比較例A）の準備が有力な防衛策となる。

Gemini Notebook

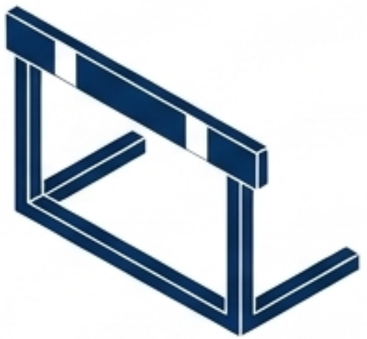
Battleground 4: 実施可能要件と相関パラメータの調整



(1) 実施できない



(2) 課題を解決できない



(3) 過度の試行錯誤を要する

審決567371号: 負極板

4つの粒径パラメータ（相互に影響し合うDFWとDv50等）を規定。これらを同時に制御して所望の数値を達成する具体的方法が記載されておらず、【過度の試行錯誤＝実施不能】。

審決50123号: 電池負極膜/正極膜

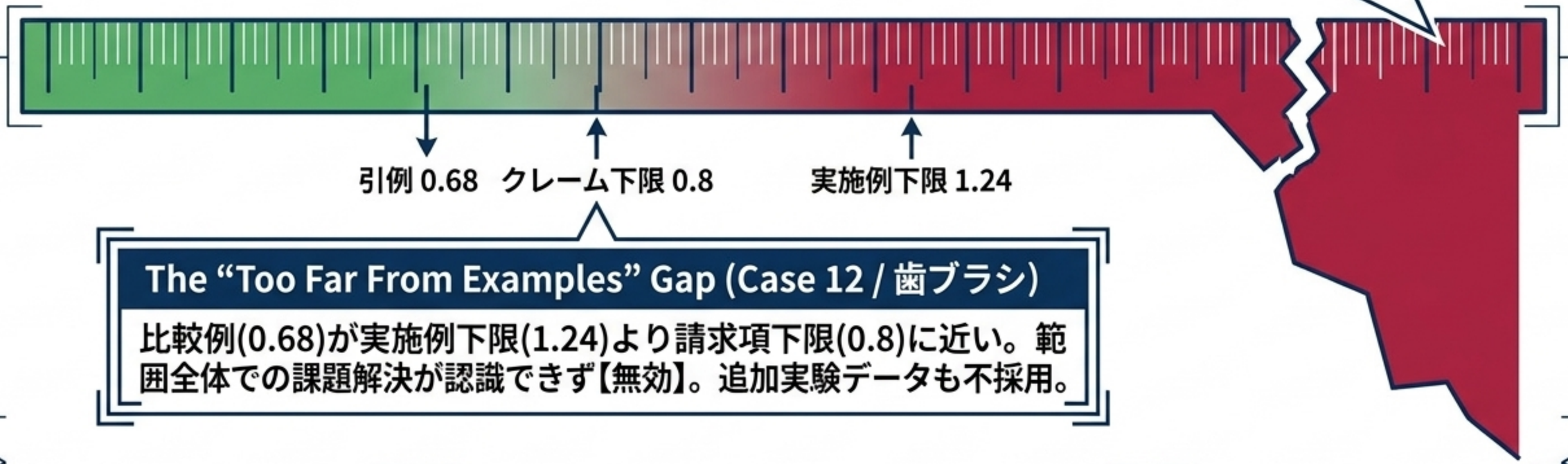
具体的工程条件は欠けていたが、各々が独立した一般的パラメータであり、調整要因（粒径、冷間プレス速度等）が明記されていたため【実施可能】。

Gemini Notebook

Battleground 5: サポート要件と「オープンエンド」の致命的リスク

The “No Upper Limit” Cliff (Case 11 / 圧縮機)

クレーム：面積割合 k ≧ 0.3（上限なし）。k 値が過度に高いとモーター効率が著しく低下（課題解決不能領域を含む）ため、【サポート要件違反・無効】。

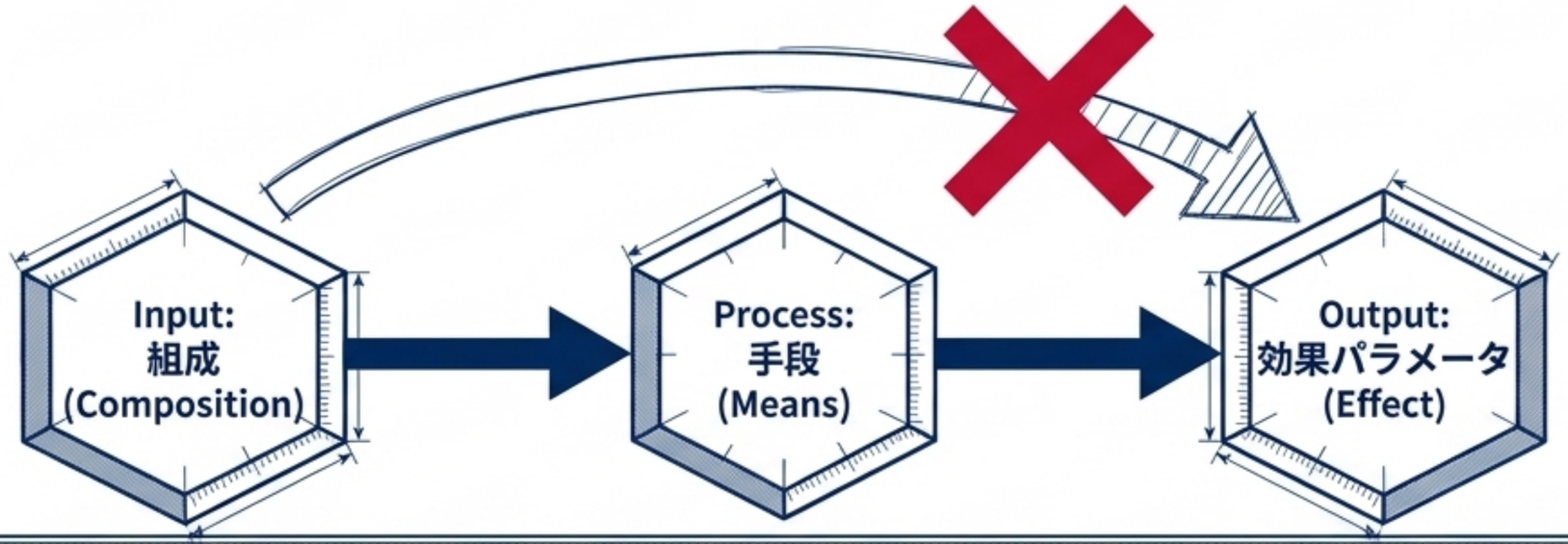


The “Too Far From Examples” Gap (Case 12 / 歯ブラシ)

比較例(0.68)が実施例下限(1.24)より請求項下限(0.8)に近い。範囲全体での課題解決が認識できず【無効】。追加実験データも不採用。

Gemini Notebook

「効果特徴」の罠：課題の言換えによる無効



Case 13 (審決586177号／合わせガラス用中間膜)

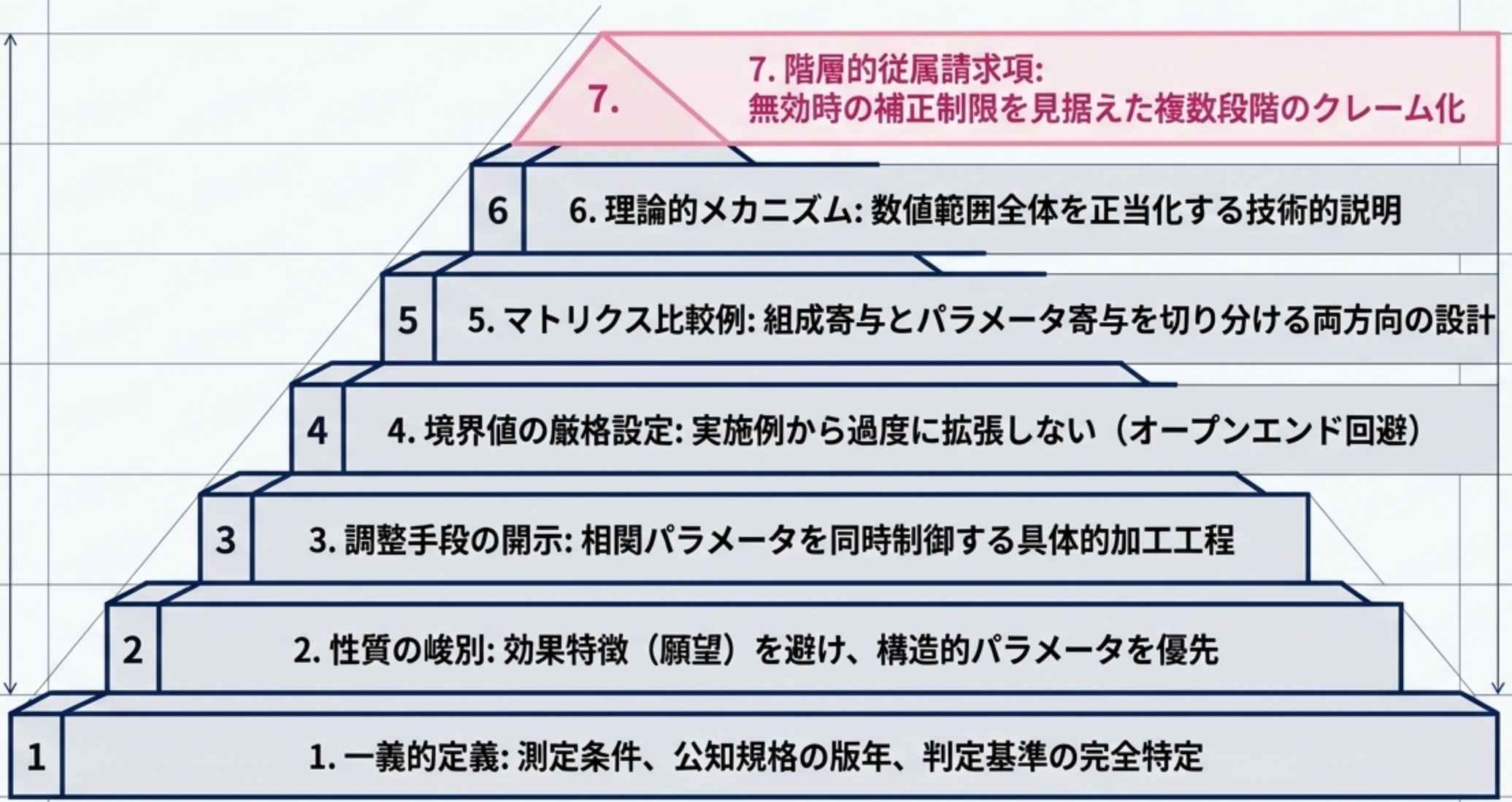
クレーム構造 : 組成特徴(1)-(3) + 輝度比(L's/Ls ≧ 1.0)

The Trap: この輝度比は、技術的手段ではなく「発明全体の効果 (課題そのもの)」を反映する性能パラメータに過ぎない。

判定 : 組成の全態様でこの効果を達成できる証明がないため【サポート要件違反】。EPOの 'Result to be achieved' 基準と実質的に一致。

Gemini Notebook

完璧な明細書設計のための7つの柱（Pre-Filing Blueprint）

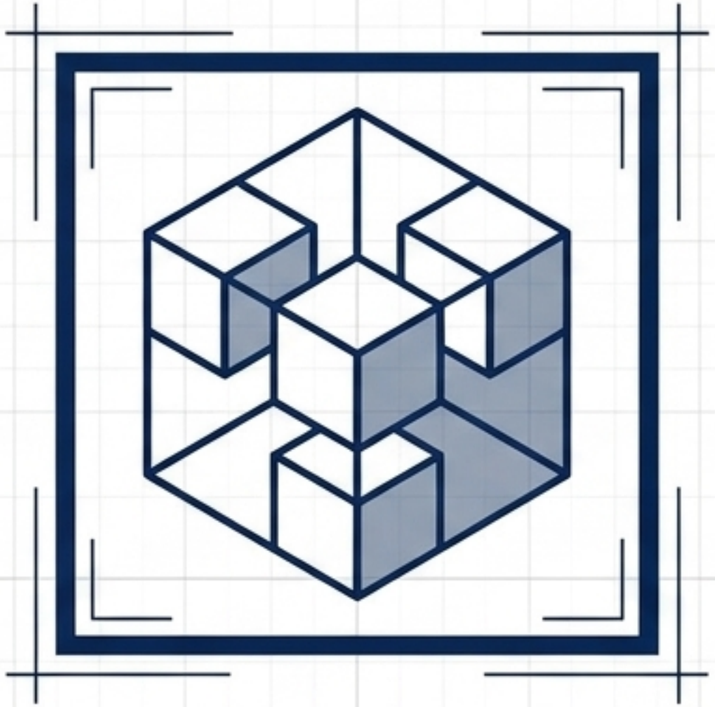


Gemini Notebook

事後対応策： 拒絶・無効段階の防衛マトリクス

不明瞭指摘への防衛	（CN/JP）技術辞典・国家標準等の公知証拠を提出し、当業者の「共同認識」を立証。
新規性「同一性推定」の打破	（CN/JP）引例との原料構造・加工プロセスの差異を詳細に分析し、パラメータが同一にならないメカニズムを論証。
事後実験データの提出ルール	（CN）証明される効果が「当初開示から得られるもの」に限定。対照再現性を厳しく問われる。 （JP）当初明細書から推論可能な効果の補強に限る。
無効手続時の補正戦略	（CN）他請求項の取込み（更なる限定）を活用。 （JP）明細書記載事項に基づく減縮訂正（境界値変更等）を検討。

Gemini Notebook



“パラメータ発明において、明細書は単なる技術説明書ではない。それは『実験室』であり『法廷』である。”

中国の極めて厳格な明確性要件、三歩法、そして補正制限に耐えうる明細書を設計することは、必然的に日本（そして世界）においても盤石な権利基盤を構築することと同義である。

Gemini Notebook